



学校だより

並四小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namiki4>

7 月 号

平成 24 年 7 月 2 日

並木第四小学校

校長 一之瀬 雅子

がんばったね ほめどき

校長 一之瀬 雅子

小雨の中の紫陽花は瑞々しく、一際美しく感じられます。休み時間を待ちかねたように元気に校庭に飛び出していく子どもたち、元気な声が響き渡り、梅雨の晴れ間を楽しんでいます。

6月は、大きな行事がありました。延期していた全校遠足が、5日に行われました。今年は、縦割りグループで、アサリ掘りや砂遊び、ボール遊び、各グループで計画した活動を楽しみました。それぞれ収穫したお土産のアサリの入ったバケツを持ち、幾分重そうな足取りで帰りました。先頭を行く6年生は、アサリを持っていません。6年生に聞いてみると、「1年生のアサリを掘るのを手伝っていたら、自分のはできなかった」「1・2年生と砂遊びをしていたから、アサリはとれなかった」というような声が返ってきました。出かける前から、「1年生が迷子にならないかな」「トイレに間に合わなかったら・・・」と、低学年の子を気遣っていた6年生、1日、縦割り班の子どもたちのことを考えて行動していたことが伝わってきました。初めての縦割り班の活動です。様々な不安があったことでしょう。リーダーとしての役割をしっかりと果たした6年生、その背中が大きく見えました。



16日は、土曜参観(30周年記念群読発表会・公開授業)を行いました。保護者・地域の皆様には、多数ご参会いただき、ありがとうございました。

群読は、それぞれの学年が、ソロやグループ読み、全体の読み、呼び掛け合ったり、追いかけたり、表現の仕方を工夫して発表しました。群読は、言葉のリズムが大切です。滑舌よく、リズムにのって表現している子どもたちの表情は、自信に溢れていました。

群読の後の「私の話」では、「校長先生は、どんな風に褒めてくれるのかな」という期待が、子どもたちの真剣な表情から痛いほど伝わってきました。練習のときから、子どもたちの一生懸命さが伝わっていましたので、私も一言も聞き漏らすまいと真剣に聞きました。そして、それぞれの学年の子どもたちが頑張ったこと、表現の良かったところを、心を込めて伝えました。1年、2年、3年と話しながら、子どもたちの満足そうな表情を見て、私の役目は果たせたかなと思いました。

公開授業では、スピーチ、討論会、学級会、道徳等、子どもたちと先生が全力で45分間に取り組みました。気持ちを込めて発表している子、うなずきながら聞いている子、頭をかきながら考えている子、分かったと目を輝かせている子、よく頑張ったと思います。満足のいく45分間になったのではないかと思います。

翌週の朝会で、土曜参観のことを子どもたちに聞いたところ、「おうちの人から、褒められた」という子が意外に少なく、驚きました。校長室に遊びに来た子からも、「何も言われなかった」という声が返ってきて、少し残念に思いました。

「褒めて育てる」とは、よく聞くことですが、褒めることにも、とき(タイミング)があると思います。子どもが一生懸命頑張って、何らかの形を示したときこそ、褒めどきではないでしょうか。勿論全て褒めるということではありません。「今日の〇〇がすごく良かったね。次は、〇〇のようにすると、もっとすごいね」などと、良かったところを褒め、さらに次の課題を言ってあげることで、子どもは、「次はもっとがんばろう」と、思うのではないのでしょうか。

アメリカインディアンの教えに、「はげましを受けて育った子どもは自信をもちます」「褒められる中で育った子はいつも感謝することを知ります」があります。また、「批判ばかりを受けて育った子は非難ばかりします」という教えもあります。子どもたちは、大人の対応から生き方を学んでいきます。励ましたり、褒めたりすることで、子どもたちに自信をもたせたり、感謝の気持ちをもたせたりしたいですね。

☆学校カウンセラー

専門のカウンセラーによる教育相談を毎月行っています。児童や保護者・教職員を対象としています。お気軽にご相談ください。相談を希望される方は、その都度、お知らせを出しますので、お申し込みください。

7月は 5日(木)13:45~16:45 23日(月)9:00~11:30 です。